

みえ県議会 だより

NO.
192

令和4年
(2022年)
8月1日

発行／三重県議会 編集／三重県議会広聴広報会議

「みえ県議会だより」に関するご意見・ご感想をお寄せください。

〒514-8570 津市広明町13 ☎059(224)2877

FAX 059(229)1931 ✉gikaik@pref.mie.lg.jp

URL https://www.pref.mie.lg.jp/KENGIKAI/

URL http://www.gijiroku.jp/mie/ (スマホ版)

URL https://www.facebook.com/miepref.gikai (Facebook) ▲議会ホームページ ▲スマホ版議会だより ▲議会Facebookページ



大杉谷 だいにちぐら
大日高 (大台町)

～令和4年度補正予算などについて議論～

令和4年三重県議会定例会 6月定例会会議

国の「原油価格・物価高騰等総合緊急対策」に対応する、ひとり親世帯への支援に関する補正予算などを審議・可決しました。また、「強じんな美し国ビジョンみえ (仮称)」および「みえ元気プラン (仮称)」の最終案について議論しました。

本号の主な内容

- 1面 審議結果と主な開催実績、インターネット中継・録画配信のご案内、「みえ高校生県議会」を開催します!、「三重県議会の議員定数・選挙区に関する条例」について
- 2～3面 一般質問、用語解説
- 4面 委員会の紹介、三重県議会定例会 今後の日程 (予定)

審議結果と主な開催実績

審議結果

可決した議案

○令和4年度三重県一般会計補正予算(第1号) ほか1件

条例

○職員の定年の引上げ等に伴う関係条例の整備に関する条例案 ほか15件

その他議案

○国営宮川用水土地改良事業に係る償還に対する市町の負担について ほか3件

人事案件(同意)

○公安委員会委員の選任につき同意を得るについて ほか2件

採択した請願

○国保総合システムの次期更改に対する国の財政支援に関する意見書の提出を求めることについて

不採択とした請願

○部活動顧問への就任強制をなくすことを求めることについて

可決した意見書案

○国保総合システムの更改に対する国の財政支援を求める意見書案

可決した決議案

○北朝鮮による拉致被害者の早急な全員即時一括帰国を求める決議案

※議案の概要、議員別の賛否等の状況などは、県議会ホームページの「本会議」からご覧いただけます。

主な開催実績

6月

3日 本会議

議案22件上程

8日 本会議

議案に関する質疑(2人)
予算決算常任委員会2分科会
議案の審査

10日 本会議

一般質問(5人)
予算決算常任委員会
議案の審査

14日 本会議

一般質問(4人)

16日 本会議

一般質問(4人)、議案1件可決

20日、21日、22日、23日

各常任委員会・分科会
議案の審査、所管事項の調査 他

27日

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査
特別委員会
条例案素案(正副委員長案)について 他

28日

予算決算常任委員会
議案の審査、所管事項の調査

30日 本会議

議案21件可決、人事同意議案3件上程・同意、請願1件採択・1件不採択、意見書案3件上程・可決、決議案1件上程・可決

インターネット中継・録画配信のご案内

三重県議会では、本会議、常任・特別委員会、全員協議会、議長定例記者会見などの生中継・録画配信をインターネットにより行っています。パソコンからだけでなく、スマートフォンやタブレット端末からもご覧いただけます。県議会ホームページの「議会中継・録画」または「議長定例記者会見」からご覧いただけます。



議会中継・録画



議長定例記者会見

8月22日に「みえ高校生県議会」を開催します!

高校生に、議会活動の体験を通じて議会への関心を高めてもらうとともに、高校生の意見を議会での議論に反映していくため、「みえ高校生県議会」を開催します。平成26年に初めて開催し、4回目となる今回は、県内8校から29人の高校生が参加します。

開催日 令和4年8月22日(月)

11時40分～15時10分

(昼食等の休憩挟む)

場所 三重県議会議事堂 議場

内容 高校生が質問し、県議会議員が答えます。

参加校	
桑名高等学校	暁高等学校
四日市高等学校	四日市南高等学校
豊学校	飯南高等学校
名張高等学校	紀南高等学校

当日はインターネット生中継を行います。また、議場での傍聴もできますので、ぜひご覧ください。(傍聴される場合には、マスクの着用、間隔を空けての着席についてご協力をお願いします)

ネット中継 三重県議会ホームページの「議会中継」からご覧ください。

傍聴 11時10分から受付を開始します。議事堂1階の傍聴者用エレベーターで6階の傍聴受付へお越しください。

「三重県議会の議員定数・選挙区に関する条例」について

昨年5月、地域間の均衡を考慮しつつ、県内の各選挙区間における一票の格差の是正等を図るため、「三重県議会の議員の定数並びに選挙区及び各選挙区において選挙すべき議員の数に関する条例」の一部改正しました。

この条例は、次の一般選挙から施行されますので、改めて改正内容をお知らせします。

改正内容

- 定数を51人から48人とする
- 伊勢市選挙区(定数4人)と鳥羽市選挙区(定数1人)を合区し、伊勢市・鳥羽市選挙区(定数4人)とする
- 尾鷲市・北牟婁郡選挙区(定数2人)と熊野市・南牟婁郡選挙区(定数2人)を合区し、東紀州選挙区(定数3人)とする
- 伊賀市選挙区の定数を3人から2人とする

一般質問

三重県議会では、令和4年6月8日から、議場内の演壇で発言する際には、マスクを外すことも可能としました。演壇でのマスクの着脱は、それぞれの議員が判断しています。

未来志向の「行動計画」へ

館 直人 議員
(草莽／三重郡選出)



問 知事は、三重とわか国体・大会について、開催の中止と延期の断念という苦渋の決断をされた際に、「三重県のスポーツの灯を消さない」、「両大会のレガシーを県政に生かしていく」と発言されました。それならば、次回の国体・大会の開催について、「強じんな美し国ビジョンみえ」および「みえ元気プラン」に明記すべきと考えますが、知事の考えをお聞かせください。

答 スポーツの推進に ついては、ビジョン およびプランにおいて記述 しています。次回国体につ いては、市町や競技団体、 学校、日本スポーツ協会な ど関係者 の理解と 協力が必 要不可欠 です。一 つ一つの手順をこなしなが ら、開催に向けた歩みを続 けていきたいと考えてお り、県財政の状況をふまえ つつ、検討・調整してい きます。



みえスポーツ応援マスコット 「とこまる」

その他の質問事項

○「三重とわか大会」の開催 準備で得られた経験を未 来に繋ぐ
○動きを止めてはならない 「スポーツ の振興」 ほか



▲一般質問 (館 直人 議員)

福祉と連携した食品ロスの削減について

山内 道明 議員
(公明党／四日市市選出)



問 食品関連事業者 と①フードバンク等 の支援団体とのマッチング を行う「三重県食品提供シ ステム」、通称「みえ〜る」 が令和3年7月 から運用されて います。このよう なシステムは都 道府県レベルで は全国で2番目 の導入であり、食 品ロスの削減に 向けて環境行政と福祉が連 携したすばらしい取り組み だと思えます。この取り組み の現状と今後の展望につ いてお聞かせください。

答 令和4年5月末ま でに、55事業所が「み え〜る」に参加登録され、 193件のマッチングが成 立し、約5.3トンの食品 がフードバンク活動団体等 に提供されました。今後も 参加者からの意見等を踏ま えた取り組みを進めるとと もに、参加者の拡大などに 努め、食品ロス削減と生活 困窮者支援の輪が広がるよ うに取り組んでいきます。



「みえ〜る」ロゴマーク

その他の質問事項

○「若年層×②フェーズブ リー」で防災意識と防災 力の向上を！
○高齢者の移動手段の確保 に向けた次世代モビリ ティ等の活 用や他分野 との連携に ついて



▲一般質問 (山内道明 議員)

今後の人口減少対策に 関する戦略と展開

下野 幸助 議員
(新政みえ／ 鈴鹿市選出)



問 県の人口は現在 175万人ですが、 国立社会保障・人口問題研 究所のデータをもとに試 算すると、五十年後には 100万人規模、百年後には 50万人規模になると推計 されます。人口減少対策は 急務であり、しっかりと戦 略を立てて取り組んでいく 必要があります。県は、「三 重県人口減少対策方針（仮 称）」を今年度中に取りま とめるとのことですが、知 事の考えをお聞かせくださ い。

答 人口減少の影響は 目に見えないもので すが、人口が減っていくと 経済力がどんどん落ちてい くので、結果はすぐに出な なくても、 今から対 策をとつ ていく必 要がある と考えて います。三重県は地勢的に 多くの人に来ていただく素 地があるので、先進的な他 県事例の調査などを行い、 しっかりと取り組んでいき ます。



その他の質問事項

○県の③地籍調査について
○県内卸売市場の支援と今 後の展開に ついて



▲一般質問 (下野幸助 議員)

漁場環境の変化に適応したアオ サノリ養殖業の振興について

野口 正 議員
(自由民主党／ 松阪市選出)



問 地球温暖化などの 気候変動や黒潮大蛇 行の影響を受けて、伊勢湾 の海水温が上昇し、潮位に も上昇がみられる中で、ア オサノリ 養殖業者 はノリ網 を張り出 す時期を 遅らせた り、ノリ 網の高さ を調整したりするなど、懸 命に対応しています。漁場 環境の変化に適応したアオ サノリ養殖業の振興に向け て、県はどのように取り組 むのかをお聞かせください。

答 県では、漁業関係 者や市町と連携し、 養殖網に確実に種つけがで きる技術の開発や、伊勢湾 内に設置した複数のICT ブイによる海水温や潮位の リアルタイム配信等に取り 組んでいきます。引き続き、 これらの取り組みを着実に 進めることで、生産量全国 第1位を誇る本県アオサノ リ養殖業の振興を図ってい きます。



アオサノリ養殖風景

その他の質問事項

○大幅に減少している伊勢 湾のアサリ資源の回復に 向けて
○海岸堤防、河川堤防、港 湾施設の維 持管理状況 について



▲一般質問 (野口 正 議員)

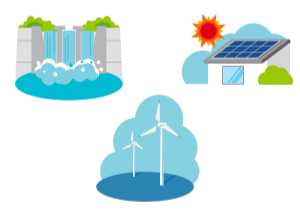
再生可能エネルギーの 導入促進について

平畑 武 議員
(新政みえ／ 鈴鹿市選出)



問 日本の電力生産に おける再生可能エネ ルギーの主流は太陽光発電 ですが、世界第8位の排他 的経済水域面積を有する日 本において、また、海に面 した地域が多い三重県にお いては、洋上風力発電も適 しているのではないでしょ うか。県として再生可能エ ネルギーの導入促進をどう 進めていくのかをお聞かせく ださい。

答 県では、新エネル ギーの導入促進や関 連産業の育成・集積などの 基本方針を掲げた「三重県 新エネルギービジョン」を 改正し、新エネルギー導入 目標などを 新たに定め る予定で す。今後 は、洋上風 力発電など の再生可能 エネルギー導入可能性につ いて、事業採算性を含めた 調査・検討を行い、発電事 業者の参入につなげていき ます。



その他の質問事項

○水素ステーション増設促 進について
○人口減少対 策の考え方 について



▲一般質問 (平畑 武 議員)

遠隔診療の県の考え方 について

野村 保夫 議員
(自由民主党／ 鳥羽市選出)



問 鳥羽市において、 遠隔診療支援システ ムを使った離島での遠隔診 療が実施さ れており、 今後は、5 Gを利用し た実証実験 も考えられ ているよう です。県は、離 島のみならずへき地での遠 隔診療の可能性を探るため にも、こういった実証実験 に積極的に参画すべきでは ないかと思えますが、県の 考えをお聞かせください。

答 離島やへき地にお ける持続可能な医療 提供体制の確保の観点から は、遠隔診療の取り組み は効果的であると考えてお り、課題解決や可能性の発 見に向け、導入を進める市 町や医療機関などと連携し て取り組んでいきます。ま た、デジタル技術を活用し た実証実験等への支援に取 り組むとともに、通信基盤 の整備が進むよう国へ要望 していきます。



その他の質問事項

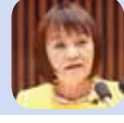
○黒ノリの色落ち被害につ いて
○離島における新型コロナ 患者の搬送 について



▲一般質問 (野村保夫 議員)

「三重県子ども条例」の 見直しを！

杉本 熊野 議員
(新政みえ／ 津市選出)



問 1年前の一般質問 で、前知事は「三重 県子ども条例の見直しを含 めた検討を行う」と答弁さ れましたが、そのとおりに は取り組まれていません。 子どもを取り巻く状況はど んどん厳しくなっており、 国においては、子ども基本 法の成立も見込まれます。 三重県の子どもの実態を しっかりと捉え直し、条例 を見直すべきだと考えます が、知事の見解をお聞かせ ください。

答 条例制定から10 年あまりが経過し、 児童虐待の深刻化に加え、 ヤングケアラーなどの新 たな課題も顕在化していま す。昨年度に行った検証で の意見を踏 まえて、子 どもの現状 をしっかりと 調査・把 握します。 その上で、 国の方向性 もみながら、子どもの権利 を守るために、条例の改正 について議論を進めます。



その他の質問事項

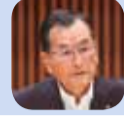
○持続可能な農山漁村の地 域づくりの推進について
○三重県スポーツ推進計画 における障がい者スポー ツの推進に ついて



▲一般質問 (杉本熊野 議員)

国際社会で今起っていること

山本 教和 議員
(自由民主党 / 志摩市選出)



問 ロシアに侵攻されたウクライナの惨状には皆さんが心を痛めていると思います。日本各地の映画館では、映画「ひまわり」がリバイバル上映され、その入場料の一部がウクライナ支援に使われているようです。そこで、三重県に避難されたウクライナの方に対して、県はどのような支援を行っているのかお聞かせください。



答 県では、「みえ外国人相談サポートセンター (Meeco)」に窓口を設置して相談対応を行うとともに、すぐに入居可能な県営住宅を確保しています。今後は、県内への定住も視野に入れた中長期的な対応も検討していきます。引き続き、市町等と連携し、ウクライナから避難される方お一人一人に寄り添った対応を行っていきます。

その他の質問事項
○私立高等学校等就学支援金の充実について

○真珠振興について
ほかに



▲一般質問 (山本教和 議員)

マスク着用の効果について

廣 耕太郎 議員
(新政みえ / 伊勢市選出)



問 諸外国では、マスクの効果や弊害を検証した上で、マスクを外す動きが拡大しています。日本でもそろそろマスクを外すべきだと思いますが、国が示すマスク着用のルールはまだまだ緩和されていないと感じます。三重県独自でマスクを外す指針を出すことはできないのでしょうか。知事の考えをお聞かせください。

答 新型コロナウイルスへの対応にあたっては、県民の命を守るためにどう行動するかを考えると、先手先手で対応してきました。なお、マスク着用の取り扱いに関しては、地域による違いがあるものではなく、国全体で専門家の意見も踏まえ科学的根拠等に基づいて決定される必要があると考えています。



その他の質問事項
○三重県における大麻栽培について

○安全・安心な避難所の確保に向けた備えについて



▲一般質問 (廣耕太郎 議員)

三重おもいやり駐車場利用促進に向けた取り組みと未遊利用策について

石垣 智矢 議員
(自由民主党 / いなべ市・員弁郡選出)



問 三重おもいやり駐車場利用証制度の利用者に対するアンケート結果では、駐車区画数の拡大や不適正利用への対策を求める切実な声が上がっています。この制度が開始されてから10年が経とうとしている中、今一度、利用者の立場になつて、実態調査を行うことも含めて、より使いやすい制度にしていく必要があると思いますが、県の考えをお聞かせください。



おもいやり駐車場

答 県では、制度の充実に向けて、関係者の皆さんの協力を得ながら、普及啓発と登録区画数の拡大を両輪に取り組みしてきました。今後、適正な利用に向けた課題を解消し、より使いやすい制度としていくために、さらなる区画数の拡大に取り組むとともに、効果的な啓発手法の検討や実態把握に努めます。

その他の質問事項
○多胎児家庭の利用証明期限延長等の支援について

○通学路の安全確保について
ほかに



▲一般質問 (石垣智矢 議員)

#学校から日常にもどせ

稲垣 昭義 議員
(新政みえ / 四日市市選出)



問 学校でコロナ対策と称して行われていることは、子どもたちの健全育成や成長にとって大きな弊害であり、尊厳を傷つけています。子どもたちの発達や成長が大切だと考えるのであれば、「学校から日常にもどす」という強いメッセージを出して、子どもたちを過度な感染対策から解放するべきだと考えますが、いかがですか。

答 マスクが感染を防止していることは事実だと思いますが、マスクの着用が必要でない場面もあります。さまざまな理由でマスク着用を希望する方にも配慮する必要があります。また、マスクの着用が必要ない場面ではマスクを外すことについて、改めて子どもたち呼びかけを行います。



その他の質問事項
○ウクライナ戦争による北勢地域の産業への影響について

○ワーケーションの取り組みについて
ほかに



▲一般質問 (稲垣昭義 議員)

人口減少対策の推進

津田 健児 議員
(自由民主党 / 四日市市選出)



問 少子化の主な原因は、未婚化、晩婚化、出生率の低下であり、それらの背景には複数の要因があります。結婚、出産、子育てなど、それぞれのライフステージごとの支援を総合的に充実させるためには、市町や国等との役割分担のもと、県は重点分野を絞り施策を集中させるべきだと思えますが、県の考えをお聞かせください。



答 少子化の課題解決に向けては、内容や対象者によって市町や県、民間企業等が役割分担の上で取り組んでいくことが重要です。県では「人口減少対策方針 (仮称)」を年内にとりまとめることとしており、さまざまな場面で議論を深めながら、少子化対策に係る具体的な取り組みも検討していきます。

その他の質問事項
○災害即応・連携体制の強化

○「ゼロエミッション」への推進



▲一般質問 (津田健児 議員)

用語解説

1 フードバンク
包装の破損など、食品の品質には問題ないが通常の販売が困難な食品を企業から無償で譲り受けて、生活困窮者や福祉施設等へ無償で提供する活動のことです。

5 ワーケーション
ワーク(仕事)とバケーション(休暇)を合わせた造語で、テレワークを活用し、普段の職場や居住地から離れ、リゾート地や温泉地、さらには全国の地域で、仕事を継続しつつ、その地域ならではの活動を行うことです。

2 フェーズフリー
「ふだんから使っているものやサービスを非常時にも役立てることができ」という考え方のことです。

6 「ゼロエミッションみえ」プロジェクト
カーボンニュートラルの動きをチャンスと捉え、国のグリーン成長戦略も踏まえ、産業構造の変化への対応や新たな再生可能エネルギーの導入等を積極的に進めることで、県内の産業・経済の発展につなげていくとする取り組みのことです。

3 地籍調査
国土調査法に基づき、市町が主体となつて、一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し、境界の位置と面積を測量する調査のことです。

4 ヤングケアラー
本来大人が担うと想定されるような家事や家族の世話などを日常的に行っている子どものことです。

三重県議会の本会議等で用いられる議会運営用語の解説については、県議会ホームページの「用語解説」からご覧いただけます。



用語解説

委員会の紹介

行政部門別常任委員会、特別委員会の活動を紹介します。

総務地域連携デジタル社会推進常任委員会

行財政の運営、地域振興の推進、スポーツの振興、県南部地域の活性化、デジタル社会の形成などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○行財政運営

スマート改革や県財政の健全化など、行財政改革取組における進捗状況等について調査します。

○交通政策

地域の実情に応じた次世代モビリティの活用やリニア中央新幹線の早期整備に向けた取り組みについて調査します。

○スポーツの推進

地域スポーツの推進や「第3次三重県スポーツ推進計画(仮称)」の策定について調査します。

○南部地域の活性化

南部地域における場の確保や定住促進等の取り組み、熊野古道をはじめとした東紀州地域への誘客活動等について調査します。

○社会におけるDXの推進

社会全体のデジタル化に向けた取り組みについて調査します。



総合型地域スポーツクラブでの活動の様子

戦略企画雇用経済常任委員会

県政の総合企画調整、雇用対策、エネルギー政策、産業振興(農林水産業を除く)、国際交流、観光の振興、会計管理、監査その他行政運営の適正確保などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○人口減少対策

県内における人口減少対策について調査します。

○県立大学の設置

若者の県内定着に向けて、県立大学の設置について調査します。

○「ゼロエミッションみえ」プロジェクト

県内の脱炭素に向けた取り組みを進め、産業・経済の発展につなげるため、「ゼロエミッションみえ」プロジェクトについて調査します。

○新型コロナウイルス感染症の収束を見据えた対策

観光振興・小規模企業の復興と振興・中小企業・小規模企業の復興と振興・新中小企業振興・観光産業や中小企業・小規模企業の復興と振興・観光産業や中小企業・小規模企業の復興と振興

○ものづくり産業等の振興

県内ものづくり産業の振興や再生可能エネルギーについて調査します。



みえ安心おもてなし認証のPR

環境生活農林水産常任委員会

生活文化行政の推進、環境保全の推進、廃棄物対策、農林水産業の振興などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○脱炭素社会等への対応

さまざまな主体によるカーボンニュートラルや資源の循環利用に係る取り組みについて調査します。

○水環境の保全

「きれいで豊かな海」の再生に向けて、総合的な水環境改善対策の取り組みについて調査します。

○農林水産業における新型コロナウイルス感染症による影響への対応

農林水産業を取り巻く環境が厳しさを増しているなか、新型コロナウイルス感染症による影響や対策について調査します。

○農林水産業と福祉との連携

労働力の確保や、障がい者の就業機会拡大の観点から重要な取り組みである農林水産業と福祉との連携について調査します。



障がい者による耕起作業の様子

医療保健子ども福祉病院常任委員会

医療・介護行政の推進、保健衛生行政の推進、子ども・青少年の育成、社会福祉・社会保障の推進、病院事業の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○新型コロナウイルス感染症対策の更なる推進と社会にもたらす影響

医療提供体制・検査体制・ワクチン接種体制や日常生活に及ぼす影響等について調査します。

○子どもが豊かに育つ環境づくり

子どもの貧困対策の推進、ヤングケアラーへの支援等、子どもの育ちを支える取り組みについて調査します。

○地域共生の社会づくり

ひきこもり支援の総合的な推進をはじめ、障がい者の自立支援等、地域社会の包括的な支援体制の構築に向けた取り組みについて調査します。

○三重県病院事業に係る次期中期経営計画の策定に向けた検討

病院事業に係る次期中期経営計画の策定に向けた取り組みについて調査します。



三重県立子ども心身発達医療センター

防災県土整備企業常任委員会

危機管理・防災対策の推進、公共土木施設の整備・維持管理、都市計画・住宅・その他土木行政の推進、公営企業(病院事業を除く)の運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○防災・減災対策

地震や津波、土砂災害や風水害などによる被害の未然防止や軽減に向けた防災対策の取り組みや、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく取り組みについて調査します。

○次世代につながる道路整備と交通安全対策

地域の経済活動や国内外からの集客・交流等を支える道路整備と交通安全対策について調査します。

○ポストコロナを見据えた地域づくり

ポストコロナにおける豊かで活力のある地域づくりを実施するための取り組みについて調査します。

○水道及び工業用水道の耐震化・老朽化対策

大規模災害等に備えるための水道及び工業用水道の耐震化・老朽化対策について調査します。



交通安全施設の整備(歩道整備) 一般国道311号

教育警察常任委員会

学校教育の充実、社会教育・文化財保護行政の推進、警察の組織・運営などについて、審査・調査します。

【重点調査項目】

○新型コロナウイルス感染症の対応と児童生徒への影響

学校における感染防止対策やICTなどを活用した教育活動の継続に向けた取り組み、感染拡大に伴う児童生徒の心身への影響などについて調査します。

○文化財の保存・活用・継承

過疎化・少子化や新型コロナウイルス感染症の影響を受けている文化財の保存・活用・継承の状況について調査します。

○インクルーシブ教育の推進

多様性を尊重し合いながら、障がいの有無などに関わらず、全ての子どもたちがともに学ぶための取り組みについて調査します。

○総合的な犯罪対策と交通安全対策

特殊詐欺などさまざまな犯罪への対策や交通安全対策について調査します。



交通安全街頭活動の様子

花や木で健やかな三重をつくる条例策定調査特別委員会

アフターコロナを見直し、花や木で美しい三重のまちづくりを進めていくこと等により、心身ともに健やかな県民の暮らしを実現するための条例の策定に向け、調査・検討を行います。

【調査の概要】

本委員会では、花や木に関する生産から生活環境の美化、まちづくり等における活用までの実態を調査するとともに、花や木をきっかけに人と人がつながり合う、実効性のある条例案の検討を行っています。

これまでに、県の関係部局や参考人から、花や木に関する実態について聞き取りを行うとともに、関係法令等について調査を行いました。

また、花きの活用を推進する先進的な取り組みを行う自治体等の調査も行いました。

今後は、それらの調査から得られた知見を生かしながら、委員会で活発な議論を行い、実効性のある条例の策定を目指していきます。



特別委員会(6月27日)の様子

三重県議会定例会 今後の日程(予定)

9月	9月2日	代表者会議
9月	8日	議会運営委員会
9月	15日	本会議(議案上程)
9月	21日	本会議(議案質疑)
9月	26日	本会議(一般質問)
10月	3日	予算決算常任委員会
10月	4日	全員協議会
10月	5日	6日、7日、11日
10月	14日	各常任委員会及び分科会
10月	17日	本会議(代表質問)
10月	19日	本会議(採決・議案上程)
10月	26日	予算決算常任委員会
10月	27日	予算決算常任委員会
10月	31日	予算決算常任委員会(決算総括質疑)

※この日程は、令和4年7月5日現在の予定です。最新の情報は、県議会ホームページの「議会の日程」をご覧ください。